

6/29 映画(受難の記録)集会 講演(金賛汀氏)

夜7じより西成市民館にて

主催 釜ヶ崎夜間学校・釜日労争議団

夜間学校ニユ

発行
釜ヶ崎夜間学校
632-4273
釜日労争議団気付

日朝労働者の連帯で 差別・排外主義を 打ち破ろう!

横浜・寿町での中学生らによる日雇労働者に対する・差別・虐殺事件くらい、大阪でもつぎつぎと日雇労働者に対する差別事件が起きています。

このような事件が起きる根本的な原因は、資本がわしらを必要なきだけ使って、後はどうなってもしらく言うやり方を行なっていることにあります。

しかも、行政は、あいりん取安に見られるように、このような矛盾をなくすやうにするのではなく、仕事の紹介もせず

しらく頼むすることにより、て容認し、かえって差別を助長しています。

このような行政の対応を改めさせる為に、去る24日90名の仲間と共に府庁に対して抗議行動が行なわれました。

差別は分断支配の為にある

そしてわしらが決して忘れてはならないのは、差別は分断して支配する為にあると云うことです。

上から頭を押さえつけられれば、つい自分よりもさらに弱いものにハテコを求めたくなるのは人情です。しかし、その時に支配がつかぬかれます。

だからわしらは、戦前と同じようなファシズムの時

代が足元までできている今、過去の歴史に学び、本当の敵を打ち倒して自分達の生活を守らなければならぬと思います。

そこで今回は、戦前の日本の朝鮮に対する植民地支配の結果、仕事を求めて日本にやってこざるをえなかった、在日朝鮮人労働者、特に日雇労働者が、差別とアフレの中でどのように生き闘ってきたのか学びたいと思います。

又、今年是在日朝鮮人6000人が殺された関東大震災から60年です。この時、実際に手を下したのは日雇など下層の労働者でした。この問題についてと共に考えたいと思います。参加を!

今こそ行動を。仕事よこせ。

あきらめぬまえに

ウワマ
エモは

「せやけど、ワシらはまっとうに生きたいんや」

春からどんどん仕事が減りだし釜だけでなく、梅田・天王寺・ナインバなどでも青カンを強いられて

ことあるけど、府の役人はいつも、金がない、国の責任や、言うてノリクウリ逃げよる」

ねて肥え太ってきよったんとちがうんか」

「昔は全港湾の団交に6000人

いる仲間が増えてきています。

「国は国で、金がない、ないいうとる」

しやないか」

「ワシらだけが、喰われっぱなしやないか」

「そのためには、やっぱり行政に仕事を出さなきゃあかん」

へ仕事よこせVという、当然すぎる要求を、実現させていくための

「そんなこと言うところけど、他の国にはせつせと金を貸しとるやないか」

「今やったら釜だけでも、

青カンしてる

「山谷では、2月から7月に6

の取り組みが、6・23釜ヶ崎反失業決起集会

「そや、韓国には40億ドルも貸そうとしとるやないか」

人ほ300人もあるで」

「これだけせ

900円で特別求人事業を都が

対大阪府行動といった形で提起されてきました。

「やっぱり、上の、金のある奴らには、かなわんで、ワシは学歴もないし、頭も悪いからな」

「このようにふうに、進いつめられたら、ドロボーするか、野タ

「大阪府はワシらをなめとるんや、けど一人でも二人でもまと

6月22日(水)の夜間学校でも

「会社や法人は、今は日本が不景気やからいうて、外国へ出て

「こらだけせ

「山谷では、2月から7月に6

「大阪府はワシらをなめとるんや、けど一人でも二人でもまと

う、いつも出される、まっとうさ

「やっぱり、上の、金のある奴らには、かなわんで、ワシは学歴もないし、頭も悪いからな」

「こらだけせ

「山谷では、2月から7月に6

「大阪府はワシらをなめとるんや、けど一人でも二人でもまと

ぎろ声を、声だけに終らさぬため

「会社や法人は、今は日本が不景気やからいうて、外国へ出て

「こらだけせ

「山谷では、2月から7月に6

「大阪府はワシらをなめとるんや、けど一人でも二人でもまと

には、どうしたらいいのかを中心

「会社や法人は、今は日本が不景気やからいうて、外国へ出て

「こらだけせ

「山谷では、2月から7月に6

「大阪府はワシらをなめとるんや、けど一人でも二人でもまと

「ワシは、全港湾の団交にいった

「会社や法人は、今は日本が不景気やからいうて、外国へ出て

「こらだけせ

「山谷では、2月から7月に6

「大阪府はワシらをなめとるんや、けど一人でも二人でもまと

原稿

まってるで!

また、また、夜間学校では、文集を作ることになりました。アッコ生活から生まれたものなら、詩・作文・小説・短歌川柳なんでもOK。夜間学校のある日に市民館へ。ヨロシク

も集った」

「それ」

でソー

メン代

就労申

告書も

でた」